



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 フルサト工業株式会社

コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 古里 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大西 聡

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 06-6946-9605

平成27年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	45,625	11.8	1,569	22.4	1,729	20.4	1,077	20.2
27年3月期第2四半期	40,804	8.4	1,282	19.4	1,436	19.1	896	28.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 874百万円 (△13.2%) 27年3月期第2四半期 1,008百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	74.31	—
27年3月期第2四半期	61.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	55,858	33,922	60.7	2,339.77
27年3月期	56,212	33,650	59.9	2,320.92

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 33,922百万円 27年3月期 33,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	5.00	—	41.50	46.50
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	39.50	44.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	91,725	4.6	3,219	△1.6	3,499	△2.2	2,127	△4.6	146.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	14,574,366 株	27年3月期	14,574,366 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	75,997 株	27年3月期	75,608 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	14,498,609 株	27年3月期2Q	14,499,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、堅調に推移する企業収益を背景とした、設備投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等により、緩やかな回復基調が見られました。鉱工業生産は輸送機械、汎用機械、電子部品等に弱さが見られました。工作機械の内需受注はここにきて減速傾向が見られました。SRC造を含む鉄骨系構造の建築着工床面積は横ばい基調にあります。

このような環境の中、当社グループにおいては、鉱工業生産稼働に影響を受ける機器・工具事業の工業機器事業及び自動車向け機械工具事業は堅調に推移し、機械・設備事業は好調時の受注に支えられ高水準を維持しましたが、建築・配管資材事業では未消化工事の増加傾向等の影響により鉄骨建築資材事業の収益力はさらに鈍化しました。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、456億2千5百万円（前年同期比11.8%増）となりました。営業利益は15億6千9百万円（同22.4%増）、経常利益は17億2千9百万円（同20.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億7千7百万円（同20.2%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

当事業の売上高は220億8千3百万円（前年同期比8.9%増）となりました。底堅い生産稼働の影響により工業機器事業が同8.7%増、自動車向け機械工具事業が同8.4%増、住宅需要の持ち直しにより住宅設備機器事業が同0.7%増となったこと等によります。これらの結果、営業利益は同57.3%増の4億8千1百万円となりました。

(機械・設備事業)

当事業の売上高は93億4千4百万円（前年同期比34.8%増）となりました。引き続き好調な工作機械の受注環境等により工作機械事業が同31.5%増、FAシステム事業が同48.1%増となりました。これらの結果、営業利益は3億9百万円（同111.4%増）となりました。

(建築・配管資材事業)

当事業の売上高は141億9千6百万円（前年同期比4.4%増）となりました。鉄骨建築資材事業は同4.1%増、配管資材事業は同5.8%増となりましたが、売上総利益率の低下及び、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は同5.6%減の7億2千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億5千4百万円減少し、558億5千8百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少10億5千万円、受取手形及び売掛金の減少5億4千万円、電子記録債権の増加3億3千3百万円、商品及び製品の減少1億5千7百万円等により流動資産が13億2千3百万円減少したこと、有形固定資産の増加3億7千5百万円、投資有価証券の増加2億2千7百万円等により固定資産が9億6千9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6億2千6百万円減少し、219億3千5百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億3千4百万円、電子記録債務の増加9千5百万円、未払法人税等の減少8千9百万円等により流動負債が4億6千3百万円減少したこと、長期借入金の減少8千万円、繰延税金負債の減少8千4百万円等により、固定負債が1億6千3百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億7千2百万円増加し、339億2千2百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当により6億1百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により10億7千7百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億1百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動における資金の増加、投資活動及び財務活動における資金の減少により、期首残高に比べ10億9千7百万円減少し、95億1千3百万円(前年同期は97億3千万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、10億1千8百万円(前年同期は得られた資金12億8千4百万円)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益17億2千万円、減価償却費1億7千1百万円、売上債権の減少額2億8百万円、たな卸資産の減少額1億6千8百万円、仕入債務の減少額2億6千万円、法人税等の支払額7億1千6百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、14億3千4百万円(前年同期は使用した資金9億7千4百万円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出5億5千5百万円、投資有価証券の取得による支出5億2千6百万円、定期預金の純増加額3億4千7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、6億8千1百万円(前年同期は得られた資金1億4千5百万円)となりました。この主な要因は、配当金の支払額6億円、長期借入金の返済による支出8千万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、平成27年5月7日に公表いたしました平成28年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,170,896	10,120,768
受取手形及び売掛金	24,171,697	23,631,238
電子記録債権	1,192,232	1,525,473
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	3,663,379	3,505,462
仕掛品	512,398	502,866
原材料及び貯蔵品	121,704	121,120
繰延税金資産	295,069	281,976
その他	245,745	352,386
貸倒引当金	△36,444	△28,240
流動資産合計	41,536,678	40,213,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,090,343	3,047,764
土地	6,356,875	6,343,780
建設仮勘定	324	420,934
その他(純額)	426,318	436,530
有形固定資産合計	9,873,861	10,249,009
無形固定資産	101,354	100,027
投資その他の資産		
投資有価証券	3,059,546	3,287,291
退職給付に係る資産	416,321	454,524
その他	1,328,731	1,662,139
貸倒引当金	△103,595	△107,486
投資その他の資産合計	4,701,003	5,296,469
固定資産合計	14,676,219	15,645,506
資産合計	56,212,897	55,858,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,757,896	18,423,284
電子記録債務	76,613	172,192
1年内返済予定の長期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	742,057	652,762
賞与引当金	554,355	564,337
役員賞与引当金	28,850	14,735
災害損失引当金	1,012	1,012
その他	976,493	845,247
流動負債合計	21,297,278	20,833,571
固定負債		
長期借入金	260,000	180,000
繰延税金負債	794,345	709,741
退職給付に係る負債	29,774	34,508
その他	181,107	177,907
固定負債合計	1,265,226	1,102,158
負債合計	22,562,504	21,935,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	21,046,009	21,521,705
自己株式	△58,762	△59,468
株主資本合計	32,194,885	32,669,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297,724	1,096,522
繰延ヘッジ損益	—	△1,528
退職給付に係る調整累計額	157,783	157,959
その他の包括利益累計額合計	1,455,507	1,252,953
純資産合計	33,650,392	33,922,828
負債純資産合計	56,212,897	55,858,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	40,804,743	45,625,166
売上原価	34,862,775	39,223,298
売上総利益	5,941,968	6,401,867
販売費及び一般管理費	4,659,810	4,832,821
営業利益	1,282,157	1,569,046
営業外収益		
受取利息	6,110	4,991
受取配当金	24,734	30,948
仕入割引	238,883	249,988
受取賃貸料	16,019	13,996
その他	11,597	9,194
営業外収益合計	297,344	309,120
営業外費用		
支払利息	1,250	926
売上割引	135,066	142,046
賃貸収入原価	1,459	2,166
その他	5,623	4,019
営業外費用合計	143,400	149,159
経常利益	1,436,102	1,729,007
特別利益		
投資有価証券売却益	59,623	—
特別利益合計	59,623	—
特別損失		
固定資産除却損	—	8,544
投資有価証券売却損	200	—
特別損失合計	200	8,544
税金等調整前四半期純利益	1,495,525	1,720,462
法人税、住民税及び事業税	569,968	613,118
法人税等調整額	29,119	29,950
法人税等合計	599,087	643,068
四半期純利益	896,438	1,077,394
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,438	1,077,394

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	896,438	1,077,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,719	△201,201
繰延ヘッジ損益	—	△1,528
退職給付に係る調整額	1,165	175
その他の包括利益合計	111,884	△202,553
四半期包括利益	1,008,323	874,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,008,323	874,840
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,495,525	1,720,462
減価償却費	154,157	171,811
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,200	△14,115
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,001	4,734
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△40,263	△38,203
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,841	9,982
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24,903	△4,313
受取利息及び受取配当金	△30,844	△35,940
支払利息	1,250	926
投資有価証券売却損益(△は益)	△59,623	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,532,871	208,891
たな卸資産の増減額(△は増加)	△165,586	168,031
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,750,762	△260,565
その他	△10,274	△231,544
小計	2,160,993	1,700,158
利息及び配当金の受取額	30,856	35,484
利息の支払額	△1,401	△898
法人税等の支払額	△906,375	△716,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,284,073	1,018,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△460,500	△1,422,700
定期預金の払戻による収入	187,000	1,075,500
有形固定資産の取得による支出	△525,006	△555,049
投資有価証券の取得による支出	△234,635	△526,998
投資有価証券の売却による収入	104,717	—
差入保証金の差入による支出	△65,431	△6,173
その他	19,137	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△974,718	△1,434,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△80,000
自己株式の取得による支出	△415	△705
配当金の支払額	△354,361	△600,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,222	△681,420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	454,576	△1,097,328
現金及び現金同等物の期首残高	9,275,507	10,610,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,730,084	9,513,368

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,274,637	6,932,577	13,597,528	40,804,743	—	40,804,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	508,284	54,126	12,469	574,879	△574,879	—
計	20,782,921	6,986,703	13,609,997	41,379,623	△574,879	40,804,743
セグメント利益	306,267	146,232	772,894	1,225,393	56,764	1,282,157

(注)① セグメント利益の調整額56,764千円には、セグメント間取引消去60,255千円、たな卸資産の調整額△3,491千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,083,702	9,344,829	14,196,633	45,625,166	—	45,625,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	561,008	152,395	10,836	724,240	△724,240	—
計	22,644,711	9,497,225	14,207,470	46,349,407	△724,240	45,625,166
セグメント利益	481,744	309,124	729,613	1,520,481	48,564	1,569,046

(注)① セグメント利益の調整額48,564千円には、セグメント間取引消去52,152千円、たな卸資産の調整額△3,588千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。